

GP ラスベガス 2015 参加記



2015/5/27 (木) -31 (日)

Las Vegas Convention Center

目次

この本について	2	プレインズウォーカー受付とシールド受付	19
GP ラスベガス 2015 について	2	LCT シールド ポッド 12	20
世界三箇所での同時開催 GP	3	LCT シールド ポッド 24	20
GP ラスベガス 2015 の参加案内が届く	4	バウンティシールド	21
GP ラスベガス 2015 への参加申し込みをする	5	ブラチナラウンジを覗く	22
航空料金の暴落	6	2 回戦は遅刻で負け	23
たっちーと相部屋に	6	本日の戦果	24
ブラチナにアップグレードする	7		
準備の日々	7	2015 年 5 月 29 日 (金)	
		サーカス・サーカスに行く	25
		サーカス・サーカスのバフェイ	25
2015 年 5 月 27 日 (水)		コインランドリーで洗濯	26
出発	8	土産を買ってウエストゲートへ戻る	27
シアトルへのフライト	8	LCT シールド ポッド 17	28
入国	9	LCT シールド ポッド 19	28
ゲート前の朝食	10	バウンティシールド待機	29
乗継便でラスベガスへ	10	バウンティシールド開始	30
ウエストゲートホテルへ	11	夕食パーティー	31
ホテルにチェックイン	12		
買い物に出て、歩く歩く	13		
M & M ワールドで土産を買う	14	2015 年 5 月 30 日 (土)	
フーターズカジノホテルで夕食とカジノ	15	明け方の日記書き	33
		スタバで朝食	33
		会場入り	34
2015 年 5 月 28 日 (木)		スリープイン構築開始	35
バフェイの朝食	16	GP 本戦開始	36
会場入り	17	土曜終了	38
ミニマスターに参加	18		

2015年5月31日（日）

早朝の日記書き	39
このホテルへの評価	39
バフェイで朝食	40
サイン入りプレイマットを紛失！	40
スーパーサンデーシールド構築	40
スーパーサンデーシールド開始	42
サイン入りプレイマットが戻った！	43
上位賞を目指す攻防	44
スーパーサンデー上位賞をゲット！	47
フリーモントでステーキを食う	47
お土産と記念撮影	49
ダウンタウンの入り口	50
タクシーでホテルに戻る	50

2015年6月1日（月）

日記を書いてチェックアウト	51
空港へのタクシー	51
空港での手続き	51
ピザの昼食	52
空港のスロットマシンで遊ぶ	52
ロスアンゼルス空港へ	53
空港で土産を買う	54
羽田行きに搭乗	55

2015年6月2日（火）

機内の時間潰し	55
最後の機内食	56
帰国	56

この本について

本書は2015年5月28日（木）～31（日）にかけて Las Vegas Convension Center で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのラスベガス大会（GP ラスベガス 2015）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

なお、現地の金額表記は原則として通貨のドル(米ドル)で行いました。

記録的な円安ドル高の進行に伴いおよそ1ドル=124円（2015年6月）で、日々の飲食などを正確に円換算しながら消費すると気が狂いそうになるので、基本、考えないようにして1ドル100円くらいの感覚で使用していました。

GP ラスベガス 2015 について

本書を手取るような方であればおよそ説明の必要はないとは思われますが、

GP (Grand Prix;グランプリ) というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。

世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に3回ほど開催されます(2015年から日本では年に4回開催されることになりました)。

GP ラスベガス2015は、ラスベガスで2015年に開催された大会ということになります。

CFB (ChannelFireBall ※1) と CascadeGames (※2) が共同主催しました。

※1 <http://store.channelfireball.com/landing>

※2 <https://www.facebook.com/CascadeGames>

世界三箇所での同時開催 GP

基本的に筆者は、近場(※1)の海外のリミテッド(※2) GPにはお金や有休に余裕があれば参加することを基本にして米国は行動半径外なのですが、ラスベガスに限っては2013年春に参加したGP ラスベガス2013がいたく楽しかった(GP ラスベガス2013本参照)ので、ラスベガスならまた参加するかもと考えていた次第です。

そして2014年の秋に恒例の「2015年のGP リスト」が発表された際に、2015年5月に日本・アメリカ・ヨーロッパの3つのGP(都市未定)が同じ週末に設定されていることが発表されました。ただしフォーマットは一瞬「リミテッド」と表示された後「未定」の状態になるという不思議な扱いをされていたものでした。

実のところ筆者はこの「世界三大同時開催リミテッド? GP」という情報が来た時点で「これは来年春にモダンマスタース2015が発売され(当時はまだ未発表)、そのGPをやるのだろう」と確信しており、DiaryNoteなどでも予想していたものでした。これにはGP ラスベガス2013を超えようというウィザーズの強い意志を感じたためであり、その材料としてはやはり「モダンマスタース」以外に考えられなかったためです。

ただし2年前にラスベガスまで行った最大の動機は「モダンマスタースのGPなんてのは空前絶後でここしかできない」ことでしたが、今度は日本でも行うことは明らかでした

ので、その意味でわざわざ手間ひまかけて米国まで行く必要もないようにも思えました。

※ 1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の低い所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。

※ 2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。

GP ラスベガス 2015 の参加案内が届く

そして「モダンマスタース 2015」発売も発表された後の 2014 年 12 月 11 日。

GP ラスベガス 2013 を主催した CascadeGames から「GP ラスベガス 2015」の案内メールが届き、さらに参加者には次の 4 つのランクがあることが発表されました。

General	\$75	・ GP ラスベガス 2015 本戦参加権 ・ モダンマスタース 2015 を 6 バック ・ グリセンブランドの本戦プロモ ・ 本戦プレイマット ・ CFB のトークンセット (LSV の直筆サイン入り) ・ CFB のライフメモとボールペン
Premium	\$100	・ General の獲得できるものすべて ・ スリープイン (プールの事前登録済)
Plainswalker	\$150	・ Premium の獲得できるものすべて ・ プレインズウォーカーラウンジの使用権 ・ ヴェンデリオンデッキケース 1 個 ・ ヴェンデリオンのスリーブ 1 個 ・ CFB の水筒 ・ CFB の布袋
Platinum Plainswalker	\$250	・ Plainswalker の獲得できるものすべて ・ プラチナプレインズウォーカーラウンジの使用権 ・ 金曜夜のアーティストおよび CFB メンバーとのミーティング (パーティー) 参加権。 ・ ヴェンデリオンデッキケースを、さらに 1 個 ・ ヴェンデリオンのスリーブを、さらに 1 個 ・ CFB メンバーのサイン入りの CFB プレイマット 1 枚 ・ ヴェンデリオンのサイドイベント用プレイマット 1 枚

注：これは追加や変更のあった最終版で、2014 年 12 月の告知時点のものとは異なります。

GP ラスベガス 2015 への参加申し込みをする

案内メールには CascadeGames が CFB と共同主催で、5 月にモダンマスターズの GP をラスベガスで開くこと、参加費と予約者のランクに応じた特典があることなどとともに、それが木曜から **4 日間** の開催であることとその **定員は 1 万人** であることなどが発表されておりました。馬鹿だろこいつら（褒め言葉）。

アナウンスされていた GP ラスベガス公式サイト（※1）には、まだほとんどそれ以外の情報が無かったものの **"Make History"** というコピーが掲載されます。

このコピーが自分の背中を強く押しました。前回の GP ラスベガス 2013 も当時としては参加者が 4 千人を超えた世界最大 GP であったわけですが、次の GP ラスベガス 2015 はたとえ会場が日米欧に割れようともそれらをさらに上回る規模の、過去最大の GP になることはおよそ明らかだったためです。

歴史に参加しよう。自分は基本的にはこの時点で参加を申し込むことを決定しました。

参加すると決めた以上、12/15 までの「早期申し込み」でスリーブとデッキケースが 1 個余分に貰えるため、とりあえず「プレミア」の参加申し込みを Paypal にて行いました。

（この時点ではまだ「プラチナ」には踏み切れませんでした）。

同時に行くを決めた以上は、エクスペディア（※2）で 5/27（水）～6/2（火）の旅程を調べたうえ会場の Las Vegas Convention Center 至近の Westgate Hotel（公式サイトからも案内あり）に 5 泊するプランも即日申し込みました。結果、ホテル代と旅費を込みで、141,438 円をただちに支払いました。

ホテルの部屋はダブルベッド 2 つが入る広い部屋で、シラキハラさんなどと相部屋にする計画もないでもなかったのですが、ベッド変更は後でも行えると考えて「キングサイズベッド」1 個の部屋を予約したものです。

※1 <http://www.grandprixvegas.com/>

※2 <http://www.expedia.co.jp/>

なお、この "Make History" というコピーは、後に "Make Magic History" と変更され、かつ千葉とユトレヒトを含むこの 3 大 GP の共通コピーとして使用されました。

航空料金の暴落

2014年12月に早々に5月のGPベガスの申し込みと飛行機ホテルの手配はしたものの、それからは2015年正月にGP静岡があったり「運命再編」がリリースされたりレベル2ジャッジに昇格したりしたものの、モダンマスターズの追加情報も何もなく日々が過ぎていきました。しかし2月もそろそろ終わる頃、GENさんがTwitterでラスベガスへの航空料金が**往復6万円**とかいう話をしていたため、自分でも調べてみました。

自分が申し込みを済ませて2ヶ月余り、円安はむしろ進行していたのですが、中東情勢の安定に伴い米国の原油の暴落が物凄いことになっておりました。航空料金なんて燃料代がほとんどすべてのようなものなので、この結果、料金が暴落していたのですね。

試みにエキスペディアで12月に予約したのと同じプランで決済画面の前まで申し込みを

試みてみたら総額10万円ちょっと。**吐血**。たった2ヵ月半で4万円の損失。

エキスペディアがキャンセル返金が可能なら迷わず申し込み直しをしているわけですが、あいにくとエキスペディアの「ツアー」はキャンセル返金がないんですよね…。

たっちーと相部屋に

さすがに即座にラスベガス行きを決めたのは自分くらいで、知己のジャッジやプレイヤーのほとんどは3月にもなると「GP千葉」へのジャッジやプレイヤー参加を計画していたわけですが、そんな中で、四国のレベル2ジャッジたっちー（橘さん）がGPラスベガス行きを計画していることが明らかになりました。

このため「部屋代が半額になるよん」とたっちーを誘い、承諾されます。

あとはエキスペディアに連絡してベッドを「ダブルベッド2つ」に変更するだけですが、実はエキスペディアとウエストゲートに連絡してもなかなかうまくいかず、ひと苦労。

どうもエキスペディアとウエストゲートの双方のサポートに問題があったらしいのですが、それはそれとして、5月の直前には無事に部屋タイプの変更も完了。

プラチナにアップグレードする

2015年3月に入ると、公式サイトで参加アーティストが1日1人ずつ発表されるようになりました。過去のCFBのGPなどでアーティストを5人くらい呼んだこともあったわけですが、今回のGPは過去最大のGPになる以上、アーティストはおそらく10人くらいは呼ぶのだろうなあと考えていたものの、サイトには「3月は1日1人ずつ発表します」とだけ書いてありました。まさか31人呼ぶつもりじゃあ…と思いつつ見ていたのですが、

どうやらその**まさか**だった模様で、20日過ぎに途中で少々止まったものの最終的には33人のアーティストがGPラスベガス2015に招待されました。うひゃあ。

自分はそれほど「サイン命」ではないものの、これはさぞかしプラチナ特典である夜の「ミーティング」（4頁参照）は盛況だろうと思い、加えて前回のGPラスベガス2013では通常とVIPの差を「これでもか」とばかりに見せ付けてくれたので（GPラスベガス2013本参照）、これは「プラチナラウンジ」は通常のラウンジとは一味違うサービスでもてなしてくれるのだろうと期待したため、思い切ってもう100ドル追加しプラチナにアップグレードしてしまいました。※追加スリーブやマットは割とどうでも良かった。金を払わず後悔するよりは金を払って後悔しよう。そうも思ったものです。

準備の日々

4/2にサイドイベントリストが発表されたり、4/13にLSVトークンが貰えるという話が入ってきたり、会場で献血をやると1回無料モダンマスターズのドラフトができるという話が入ってきたり、4/23にサイドイベントのプレイマットが「ヴェンデリオン三人衆」新絵であることが判明して衝撃が走ったり、「サイドイベントのオンライン予約」という（キャンセル返金可）ものができたため、木・金のバウンティシールドや日曜のスーパーサンデーシールドに予約したり、色々やれることは進めていました。

さらに一週間前にモダンマスターズ2015が発売されたので、練習がてらにさっそく店舗大会で何度か遊んだりしつつ、FAQで確認できることは確認し、またGP千葉の情報も横目で見ながら、会社の仕事も片付けて荷造りも終えていよいよ出発の日を迎えました。

5月27日（水） 出発

朝のニュースの1ドル123円に眩暈のする気分で荷物の最終チェックを終え、11時半にカラコロを引いて家を出ます。新小岩駅前の松屋で昼食を済ませ薬屋でリップクリームとポケットティッシュを買い、12時30分発のエアポート成田に乗車して、13時46分に何ごともなく成田空港駅に着き、発券とモデム受け取りと荷物検査と出国審査を終え、14時半に25番ゲートに到着。近くのWifiサービスゾーンに座りiPhoneの充電をしたり売却予定のカードの整理をしたりして待ちます。

15時21分、搭乗開始。機内の自席に座る。やはりデルタ航空には各席にUSBポートがあったので電池残量を気にせずにiPhoneをつけていられる（主に音楽とKindleのため）のだが、とりあえず機内モードにして通信を遮断する。通信回復は10時間後。ともあれ定刻通り、16時5分にデルタ航空166便は成田を出ました。

シアトルへのフライト



17時にピーナツとプレッツェルのスナックが出たのち、17時半に機内食のチキンとナッツ炒め。悪くない。鳥ナッツの白米もそれほどはべちゃべちゃでもなくて、野菜サラダ、ポテトサラダ、パン、ケーキはいずれも普通に。食事を終わると18時。機内の照明も落ちていたので寝ておくべきだろう。うつらうつら。20時半に、おかきが出て起こされる。

機内は真っ暗だがそれほど眠くもないので、機内のTVで「ホビット2」吹替版を鑑賞。強引にマスターが結論に持っていくTRPGみたいな色々な無茶ぶりが楽しかった。映画を観終わると21時半。あと3時間半か。ここは一眠りしておこう。

23時22分、機内の照明がついた。外は明るく、現地時間でいうと水曜朝の7時22分。シアトルまであと2時間を切っているので、iPhoneの設定を変えシアトル/ラスベガスをiPhoneでの表示時間にします（ここからは現地時間で記録します）。

8時半に軽食のパンとフルーツが出る。いつもの旅行用財布を腰に鎖で結びつける。

9時10分、何事もなくシアトル空港に着陸。レンタルモデムの電源を入れて通信開始。まあ日本では1時半だから、皆はこれから寝る時間であるわけですが。

入国

入国審査では「すでにESTAを取得している人はこちら」という列があったので、そちらに並び、前の人の見よう見まねで機械を操作。

指示に従ってパスポートをスキャンし質問に答えてから、指をスキャンして、顔写真を撮るとプリントアウトが出てきた。このプリントアウトを出して終了なのかな。



最初の窓口でプリントアウトに判子を押して貰い無事に通過。機内で書いた税関申告書は提出を求められませんでした。まあ機械の画面で同じ質問が出てきましたしね。

そのまま乗り継ぎ便への搭乗手続きの列へ。

ここで全身スキャンを含むセキュリティチェックがかかる。成田空港のセキュリティ後に買って飲用として鞆に入れていたペットボトルが没収。まあ仕方がない。

その後プリントアウトを回収され、これで入国手続きは全部終わったようです。

ゲート前の朝食

セキュリティの通過後、乗り継ぎ便の B1 ゲートまで地下鉄で移動。

10 時 10 分、地下鉄を降りて B1 ゲート前に到着。予定ではベガス行きは 3 時間後だから、まあ飯にしよう。当座の資金を ATM で 500 ドルほどキャッシング。



よく知らないファストフードの店で、卵とベーコンチーズのサンドイッチ 7.25 ドルとドリンク 3 ドル。まあまあ美味しいがドル 123 円で換算したくはないなあ。

とはいえ満腹しそうなアメリカンなサイズ。マクドナルドにしなくて良かったと思う。

ゆるゆると朝食を終えると 11 時。あと 2 時間以上あるので、ゲート前でうたたねろう。日本時間では午前 3 時なのであるから、さすがに眠い。

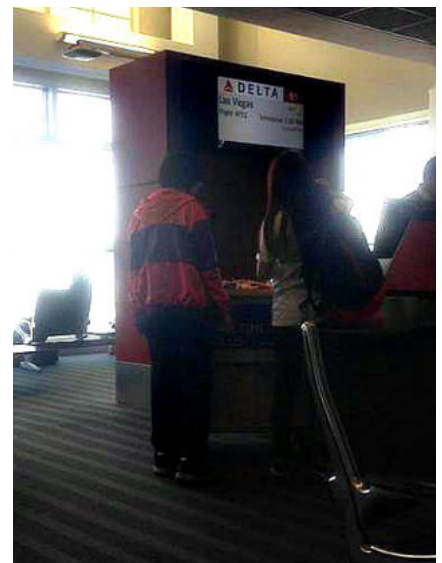
乗継便でラスベガスへ

ぼくが乗る予定のベガス行きの便は、順調に**遅延中**。

まあ待つしかない。売店で目薬を買う。

13 時過ぎ、ざっと遅延が 1 時間半ほどになったためか、搭乗カウンター横で飲み物とお菓子を配り始めたのには笑った。ひとつ貰った。

14 時前に、やっと自分が乗る機が到着したようで、搭乗開始。自分が着席したのは 14 時ちょうど。やれやれだぜ。





ここからは遅延リカバリのためか、てきぱきと離陸に入ったうえで、2時間ほどのフライトを終えて（寝ていましたが）、16時22分にラスベガス空港に到着。次は荷物の受け取りのミッションです。

「2年ぶりだね」

「…来たよ」

脳内でキリシマとハルナが会話する中を、歓迎ゲートをくぐる。前回は深夜に到着したので、ここのネオンが鮮やかだったなと思い出す。現在は夕方の16時半なわけだが、まだ全然、陽が高い。



一番奥の荷物レーン16で荷物を待つが、案の定、15分くらい待たされた。

ウェストゲートホテルへ

荷物を回収してタクシーに乗る。気さくな運ちゃんと「LVH…Las Vegas Hiltonへ」

「そこはいまはヒルトンホテルじゃないぜ」「Westgateだね」「そうだ hahaha」とかいう会話を交わす。とりあえず今回は自分の英語で通じているようだ。

「早いルートと、そうでないののどちらにする？」と聞かれたので「…高いほうかな」と思いつつ「早いほうで」と答える。

地図を見る限りLVHは空港からパラダイスロードを北に1本道路なのだが、タクシーは

ぐらりと空港を反対側まで一周して西のハイウェイに乗る。

「…ぼられたかな？」とも思いつつ「まあ渋滞に引っかからない道ということだろう」と解釈してそのままにこやかに運ちゃんと会話を続ける。別のホテルを指して「いまは Hilton と言えばこっちのホテルのことだぜ」とかここのステーキはうまいぜとか。確かにハイウェイのこちらですら、たまに渋滞で車が止まる。まあ正解なのかもな。



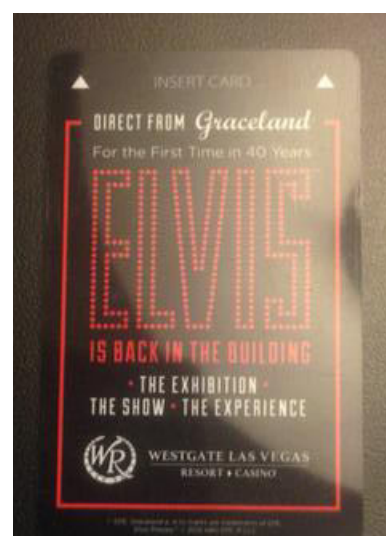
ホテルにチェックイン

約 30 分かかって 17 時半に、タクシーは無事にウエストゲートホテルに到着した。

フロントのチェックインの列に並んでたちーに連絡し、やがて現れたたちーからパスポートを預かる。10 分後に、何ごともなくカードキーを 2 個貰った。

ホテルのカードキーはエルビスのロゴ入り。このホテルはエルビスづくしである。

さてチェックイン待ちの間にたちーはどこに行ったかな…と思い「エルビス像の前で待つ」とメッセを入れたが、



思い直して部屋番号をメッセに入れて自分は直接
24 階の部屋に向かい、入室する。

よし変更オーダー通りダブルベッド 2 つの部屋だ。
たちーと二人寝する羽目にはならない（笑）。

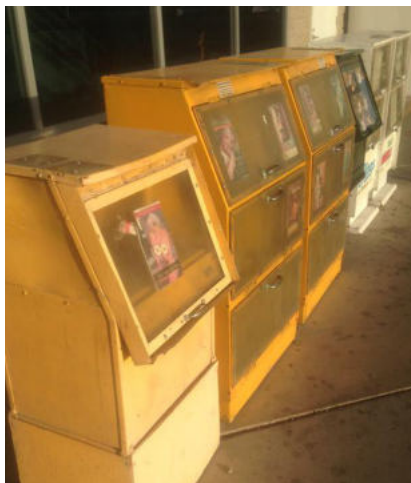
荷解きをするうち、部屋に来たたちーと合流。
窓際のベッドを自分が貰うことにした。



買い物に出て、歩く歩く

18 時半、着替えて荷解きを終えたので仮眠するたちーとはフーターズで夕食に合流と
いうことにして 1 人で部屋を出る。今日は土産物を買う日でもある。

そのままてくてく歩いてホテルを出て、会場のコンベンションセンターを横目に見て歩く。



相変わらず道端のそこかしこには工口広告の BOX がある
が、どうやら宣伝メディアとしてはかなり廃れてしまった
ようで、かろうじて個人営業の工口チラシカードが少々
入っているが 2 年前のような盛大なチラシブックもなく、
そもそも全体に日焼けして掃除も行き届かず砂をかぶって
いて、あまり手を出す気になれない。

そしてここで自分は、さっさとタクシーを拾えばいいものを、まだ明るいしひとつここは
歩いてストリップまで移動し、ストリップを南下してみるかという馬鹿なことを試みる。

どう見ても地図でも **5km くらい**あるのだが、まだ体力は余っており。てくてく。

まずはリビエラとサーカス・サーカスを横目に西へ移動し、ストリップに着いたので南下。南下するままファッションショーやベネチアンやミラージュやバリーズ/パリスを横目に歩くが、まあ観光ガイドに載っている通りであり特筆するほどのこともない。

土産物屋で寝巻き代わりに5枚で10ドルのTシャツを買おうかとも考えるも、いまいち気に入った柄のものがなく、荷物になるのでいまは見送ることにする。

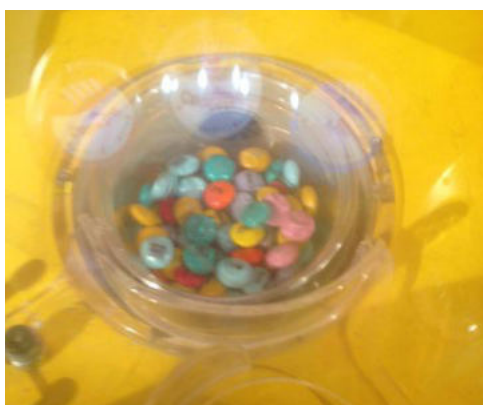
M&M ワールドで土産を買う

通りのあちこちに立つエロチラシカード配り兄ちゃんの1人からエロチラシカードを貰う。何でこの兄ちゃんがしばしば「ぱちぱち」紙音を鳴らしているのか以前から不思議だったのだが、受け取って納得。数枚のカードをいっぺんに手渡す関係から、1人に手渡したら次の1枚ずつのセットを手の中で作っていたのだ。



半分くらい歩いてもう嫌になったものの、タクシーを拾うこともなくそれから1時間近くてくてくとストリップを南下して、ようやく薄暗くなった20時10分、M&M ワールドに到着。ふう。つかれたあ（馬鹿）。では土産物タイムに突入。

さっそく3階のM&M チョコプリンタをオーダーし、カスタムプリントを敢行。



また女房からオーダーされていたクリップを買い、スター・ウォーズのコラボキャンペーンのブランケットが「買い物をした客には、\$20のものを\$5で売る」とやっていたので「…売れ残ったのかな」と思いつつ、兄の土産に1つ買うなどしてからM&M ワールドを後にする。

フータースカジノホテルで夕食とカジノ



その足でフータースに移動すると 21 時。

フータースよ！私は帰ってきた！

まずは土産物を買いに、カジノ奥のショップへ入る。
なのだが 2 年前に大好評だった 5 ドルの「フータース
ガールトランプ」を求めようと思ったら「ない」との
返事。え？あれ生産止めちゃったの？がっかり。

とりあえずマグカップは買ったが、しおしお。

カジノでたっちーを発見したので夕食。

前回は全員が気に入った Mad Onion に
入るが、今回は \$9.95 リブステーキ等は
なく普通に 2 千円くらいした。うーん…。



例によって肉はでかいし容赦なくポテト
が盛られているので、お得感はあるものの、
ただ今日の自分の体調では少し脂身がキツかったので完食は諦めて残す。

食後ブラックジャックのミニマム 3 ドル台で打ち始め、のちたっちーも参入。年齢確認を
求められる童顔のたっちー。20 ドルずつなくなったら出していき、一時プラスになるも
そこで止めなかったため 2 時間くらい打って 60 ドルのマイナスのところで終了。

自分が止めたタイミングで止めることにしていたたっちーは 40 ドルのプラス。むむむ。
日付が変わる頃にフータースカジノホテルを出て向かいの MGM に移動して、モノレール
改札を探して少し迷ったのちに、ホテルに戻る。

シャワーを浴びて、少しだらだらしてから午前 2 時前に就寝。

5月28日（木） バフェイの朝食

朝の7時半に起床。外は明るい。いい眺め。
さすが24階だ。

8時にたちーと部屋を出る。今日の朝食は
このホテルのバフェイを試してみることにし
たのである

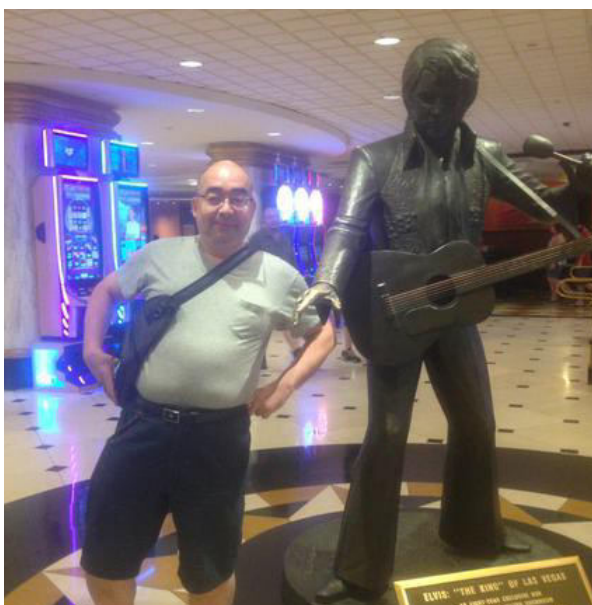
朝食バフェイは18.37ドル。

まあ、こんなもんじゃないでしょうかね。



開場が11時だから、のんびりめし。デザートも含めて9時前には満腹になる。

このホテルは他のホテルよりもだいぶ離れているから、まあモノレールに乗ってわざわざ
他のホテルのバフェイを試すほどではなく GP 参加のためには毎日これでいいかな…。



プレスリーと記念撮影ののち、まだ開場まで
2時間もあることから、腹ごなしに会場まで
歩いてみることにする。

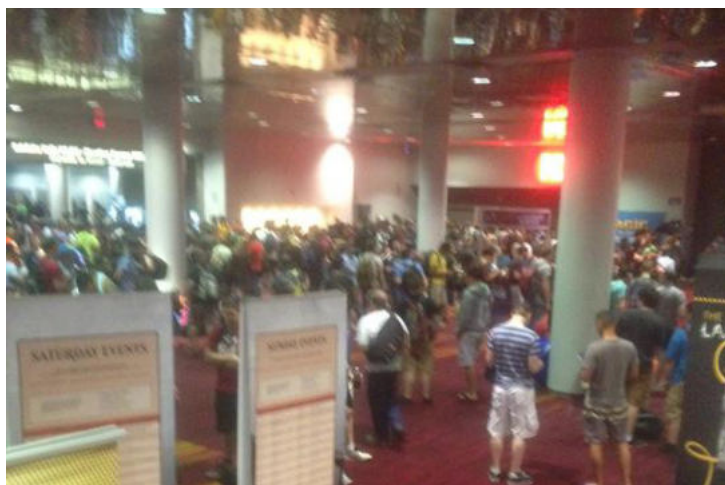
最初、最短コースが分からずにホテルの玄関
から出て遠回りをしてしまったが、それでも
確かに会場は近い。ほんとに隣だ。

そして帰りはホテルの敷地内を通過して戻るルートを発見。うん、これは確かにとても近い。まあ実際このホテルを選んだ大きな理由は、この会場との近さにあるわけである。むしろ**唯一**の理由と言っても良い（笑）。部屋にメモ用紙も置いてないし冷蔵庫は壊れている。何にせよ 11 時まで会場には入れないので、いったん部屋に戻る。

会場入り

部屋で今日の予定を確認したのち、たちーより先に 10 時過ぎにゆるゆると部屋を出る。どの程度の特典があるか不明だが、このホテルのプレイヤーズクラブにエントリー手続きをする。また、ホテル 1 階のコンビニの場所を確認する。

カジノの中を通過して会場まで行けるのは、やはり至便と言って良いと思う。



まだ 20 分ほどあるが、会場前にはすでに人の流れができていたので、順路に従ってエスカレーターで上り、長い階段を通過して会場の待機列へ。うわ。やっぱすでに凄い人やん！

さらに案内所でパンフレットを貰う。会場内の見取り図があるのは助かった。ふむふむ、会場全体を 8 つのエリアに分割しているのか。そして受け付けや、ラウンジや、物販や、

サイン会場のエリアも確認する。

そしてドアの前では何百人かが、入口が空くの列も作らず待つカオスな状態に。まあ、そうなるよな…。

スタッフが何か英語で説明していたが聞き取れない。たぶん「走るな」とかそういう類の注意だろう。

そして11時（を少々過ぎてから）ドアが開いた。
自分も人波のままに会場入り。ここからは遊ぶよ！



ミニマスターに参加

人波の誘導路を作りながら、スタッフが何十人も並んで紙を配っていたので思わず受け取ったら、これはミニマスターのポッド 13 の参加登録用紙（兼、テーブル番号）だった。

今日はフライト LCT シールドから参加するつもりだったが、まあ、いいか。GP は始まったばかりだ。キキジキのエリアに移動し 198 番テーブルを探す。

Twitter を読んでいたら、たっちーもミニマスターから開始。まあ、あの流れじゃそうなるよね…。

そこまでしてタルキール霸王譚の無料 1+パックにかけることはないので、明日は入口でこれを受け取らないようにしよう。用紙には「MMM」とも書いてあるけど、別にモダンマスターズのミニマスターというわけでもない（笑）。

少し待たされて 11 時 40 分にパックが来て、ほどなく開始した。

プールをざっと見て、青を抜いて白黒赤のタッチ緑でスタート。

土地を多めに入れたのが効を奏して、十分にクリーチャーを展開できないおねーちゃんを粉砕したうえで 2 回戦に進み、2 回戦では除去まつりの相手に負けて終了。

待ち時間に近くを歩いてトイレの位置など把握した。まあ広い会場だよね。

[Creatures] 9	[Spells] 6	[Lands] 15
《族樹の管理人》	《龍の握撃》	《花咲く砂地》
《アイノクの盟族》	《はじける破滅》	《平地》 * 4
《グルマグの速翼》	《龍鱗の加護》	《沼》 * 4
《谷を駆ける者》 * 2	《タルキールの龍の玉座》	《山》 * 4
《不撓のクルーマ》	《大蛇の儀式》	《森》 * 2
《マルドウの荒くれ乗り》	《強大化》	
《スウルタイのゴミあさり》		
《わめき騒ぐマンドリル		

構築デッキ（最終形）

プレインズウォーカー受付とシールド受付

LCT のエントリー前に、会場内をいささか探して中央奥の受付場所を発見。

そして 15 分ほど待ったうえで手続き終了。
プラチナプレインズウォーカーの通行証の
ネックレスや各種グッズ入り袋を受け取る。

13 時になったが、まだまだこれからである。
さっそく LCT シールドのエントリーの列を
横目に、プラチナ専用ゲートから入り待ち
時間なしでお金を払って LCT12 に登録。
まだ先着 900 人スリーブは獲得できた。



LCT シールド ポッド 12

イオナのエリアで待つ。G P 本戦に早期エントリーした関係から、ヴェンデリオンスリーブはすでに 4 個目。さすがに 1 個使おう。

ほどなく全員が揃ってパックの配布とプール登録から。隣の人が光る「呪文滑り」を引いて離脱する。まあ本戦はともかく LCT だから、元取れプールだったらさっさと離脱して構わないと思う。

自分は「刻まれた勇者」が光っただけだったのでドロップ要素なし。回ってきた自分のプールは…うん、白力線以外は人権なしの元の取れず（笑）。とりあえず白赤装備で組む。

《神聖の力線》
《ミラディンの十字軍》
《サラカーの呪文刃》
《彗星の嵐》（笑）
《影魔道士の浸透者》
《戦争の貴神》

取りレア

結果は、土地を引きすぎたり半分ある山をいつまでも引かなかったりで 2-1 の一没。1 勝もできなかった駄目プールなので、デッキは記録しませんでした。

LCT シールド・ポッド 24

まだ 15 時なので、ただちに次の LCT にエントリーする。今度もイオナのエリア。これに参加しても 18 時のバウンティシールドにはまだ間に合う筈だ。

今回、自分に回ってきたプールは双子とオバ賛美がいるから、プレイマット代を考えればまあ 75 ドルで合格ラインかな。

組んだデッキは白緑。
テーマは「召集」とエルドラージ召還の白装備風味。

《ミラディンの十字軍》
《欠片の双子》
《貴族の教主》
《影魔道士の浸透者》
《概念の群れ》
《刻まれた大怪物》

取りレア

[Creatures] 17

《貴族の教主》
 《皮剥ぎの鞘》
 《巢の侵略者》*3
 《きらめく鷹の偶像》
 《ミラディンの十字軍》
 《合金のマイア》
 《まばゆい魂喰い》
 《陰極器》
 《鎌切り》
 《藻のガリアル》
 《カヴーの上等王》*2
 《議事会の密集軍》
 《ウラモグの破壊者》*2

[Spells] 7

《永遠溢れの杯》
 《巨森の鳶》*2
 《銅の甲殻》
 《ダークスティールの斧》
 《不屈の自然》
 《拘引》

[Lands] 16

《エルドラージの寺院》
 《平地》*7
 《森》*8

[Sideboard]

《来世への旅》

構築デッキ

Round1 Josephさん 黒 ○×○

早々に《カヴーの上等王》が7/7でいわしたりして、まあ回って勝った。

Round2 Jimさん 白青 ××

高速金属にいいようにいなされ、完敗。

そんなに悪くないデッキだと思ったのだが、まあ2没で終了。30チケットをゲット。

バウンティシールド

ちょうど18時5分前に負けたので、すでにネットで申し込んでいたバウンティシールドに向かう。受付で聞いてキキジキのエリアへ移動。シートオールを確認して着席。これを3ラウンド遊んで、今日はおしまいである。

そして18時を回っても全然お腹がすかないバフェイの威力。これなら20ドルでいいか。

18時半、パックが配られる。
これはスワップなしの自分の
ものなのでタルモを願う。
向かいの人がタルモを引いた
のを横目に見つつ、自分の
プールを確認。イオナは悪い
ものではないが、足りぬ。

《エメリアの盾、イオナ》
《容赦無い潮流》
《蟻の女王》
《軋み森のしもべ》
《概念の群れ》
《磁石のゴーレム》

取りレア

[Creatures] 17

《病に倒れたルサルカ》
《ツカタンのサリッド》
《血の座の吸血鬼》
《ナーリッドの群れ》
《幽霊の変わり身》
《野生の末裔》
《まばゆい魂喰い》
《陰極器》
《鎌切り》
《ゴミあさりのドレイク》
《コジレックの捕食者》
《軋み森のしもべ》
《戦慄の徒食者》
《蟻の女王》
《獣性の脅威》
《種のばら撒き》
《ウラムグの破壊者》

[Spells] 6

《骨の粉碎》
《帆風》*2
《四肢切断》
《不気味な苦悩》
《感染の賦活》

[Lands] 17

《進化する未開地》
《エルドラージの寺院》
《ゴルガリの腐敗農場》
《平地》
《沼》*6
《森》*7

構築デッキ

構築は黒緑タッチ白で。

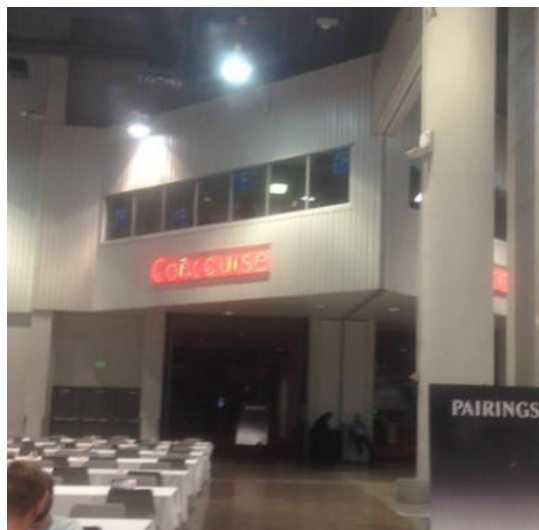
Round1 Homsnetさん 黒赤 ○○

G1 順調にマナも出てピンポンパンも出て制圧。

G2 回って勝ち。

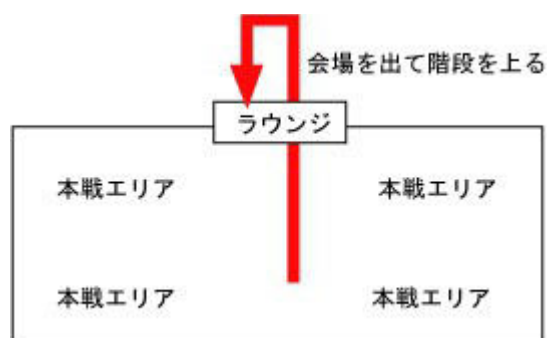
プラチナラウンジを覗く

1回戦のストレート勝ちの後、少し時間があつた
ようなので、プラチナ特典のプラチナラウンジと
いう物を覗いておこうと思った…のですが、残念
ながらこれは良いものではありませんでした。



会場内から見たプラチナラウンジ

会場を見下ろす眺めは悪いものではないものの、眺めなど割とどうでもいい。何より遠い。プラチナラウンジに行くには、会場の中央出口から出て、2階へ徒歩で階段を上る必要があり、会場内の場所によっては何百メートルも歩く。もちろん帰りも同じだ。何だこれ。こんな所でまともに本戦になど参加できないだろ。



ラウンジ内に水やポップコーンはあるが特に通常ラウンジより豪勢な飲食物が並んでいるわけでもなく。

加えてプラチナラウンジ内で常時「プラチナドラフト」が30ドルで開かれていて、実際、大勢の人間がドラフトをやっていたのですが、正直「なぜこんな所で遊ぶ？しかも木・金は会場内でも30ドルなのに」と思い立ち去る。

正直な所、プラチナラウンジには**激しく失望**。ここでどれだけ100ドルの価格差を吹き飛ばすに足る豪華なサービスを提供してくれるのかの期待が「プラチナ」ブレインズウォーカーにアップグレードした少くない動機だったのだがなあ、自分にとっては。

2回戦は遅刻で負け

会場に戻りアーティストエリアやショップをちんたら歩いている途中で「いけね」と気がついて慌てて対戦エリアに戻ると、とっくに第2回戦は始まっていて、しかも丁度自分の席でジャッジが「10分遅刻」の処理をして対戦相手がスリップにサインをしている最中だった。一応ジャッジに聞いてみるも遅刻0-2で**マッチロス**。まあ、仕方がない。やってしまった。ドロップ扱いにならないよう、スリップに自分のサインをして終了。

この時点で時刻は21時。

3回戦までの待ち時間を利用して、滞在中の資金を稼ぐためバイヤーブースに高額レアを売りに行くチェックをする。買取価格表を出しているブースがあったので、手元のレアのうち、リストにあり、かつ値段がそこそこのものを抜き出す。

今回自分でやってみて分かったのは、ショップによって「欲しい」カードにはそれなりの値段をつけるし、そうでないものは値段をつけない、というか買い取らないので、闇雲に高いレアだけ持っていては仕方がないということなのだった。

結局、3回戦も白赤に負けてバウンティは1-2で終了。時刻は22時半を回っている。

そして賞品のFNMプロモの列はすでにかなり長い。

ただ並んでいるのもつまらないので、さっきチェックしたレア30枚ほどをバイヤーに持っていくと282ドルになった。よし、とりあえず明日遊ぶ金はできた。

その後、減った列に並んで無事に《停止の場》と《軍族童の突発》を獲得。しかしなぜ《かき立てる炎》を取らなかったのだ俺（※絵違いなので見落としていた）。

本日の戦果

まあ、今日は会場の構造を把握する日だったと思うことにして、23時に会場を出る。

さすがに今日はもう、ホテルのカジノでもない。

そろそろ日付も変わるが、夕食をがつつり食べたい気分でもないので、コンビニで買ったコーラ3ドルとポテチで済ませる。ポテチは日本で100円程度の奴が3ドルとかなのでこの際、特大の10.5オンスの奴を7ドルほどで買う。これなら滞在中は持つだろう。

部屋に戻る。たっちーも寝落ちしたし、自分も寝よう。そろそろ午前1時。

日本では17時だが、とりあえず時差ボケは深刻なものではない感じ。

午前3時にトイレに起きて、ネットで日本のGP金曜日の終了を見つつ、寝直す。

5月29日（金） サーカス・サーカスに行く

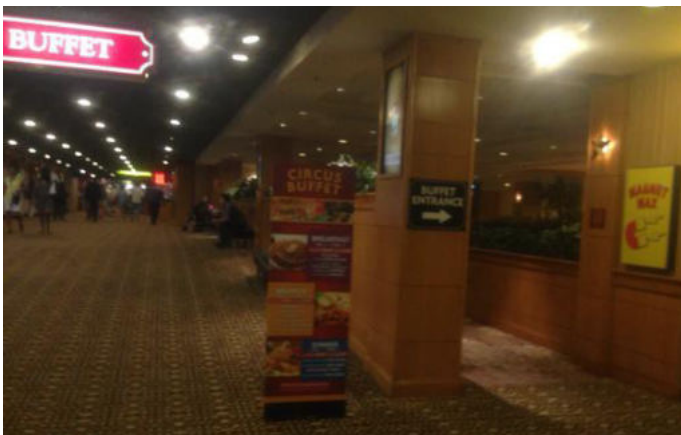
午前8時前に目が覚める。会場が開くのは11時だし、さてどうしましょうかと相談。

火曜からこちらに泊まっているたっちは洗濯をしたいと言い出す。自分も下着は3日分しか持参してこなかったので同意。

しかし部屋に洗濯機はなく、ルームサービスは案の定くそ高い。パンツ1枚4ドルとか。ラスベガスのコインランドリーで検索したたっちがサーカス・サーカス奥の区画にあることを発見。このため、朝食にサーカス・サーカスのバフェイを試せないかな？と事前に調べていた自分は、サーカス・サーカスで朝食と洗濯をする提案をし、ただちに合意。

さっそく支度をして2人で8時半にホテルを出てサーカス・サーカスに向かうことにする。

サーカス・サーカスのバフェイ



サーカス・サーカスへは西へ道路一本500mくらいであり歩けない距離ではなく実際にも10分くらいしかたっていないのだが、実際に歩くと、でかい建物と単調な風景にたちまち飽きる。まあ帰りはタクシーかな。

館内を探して移動して8時42分にサーカス・サーカスのバフェイに到着。15ドル払って入場。

まだそれほど混んでいなかったので**憧れの**オムレツを焼いて貰うところからスタートする。

1ドル紙幣を皿の脇にチップに置いて、オーダー。



あとはもりもり食べられる分を盛って、食べるのみ。



9時を回ると結構混んできたなか、デザートに移る。ソフトクリームもあるキッズ向けの充実のサーカス・サーカスのバフェイ。お値段も安いしガイドブックに載るだけのことはあると思った。こりゃウエストゲートから毎朝タクシーで来るのもありかもなあ（笑）。

コインランドリーで洗濯

腹がふくれたので9時半過ぎにはバフェイを出て、もう一つの目的のコインランドリーを探す。

たち情報によると「RV Park」の先にあるそうなので、まずはそのRV Parkとやらを探して発見。

その敷地内に入り、それらしい建物を探す。どうもこのエリアは、サーカス・サーカスの一部ではあるのだが、なんだか安い集合住宅のような同じビルが

2個3個と並ぶ。長期滞在者向けの施設のようにも見え、それならばコインランドリーがあるのも道理かな…とも思った。

10分ほど搜索ののち、どうやら目的の建物を発見する。





正面から入ると売店だった。
店員からコインランドリーの
場所（すぐ隣）を聞いて入る。

数台の洗濯機が全部塞がって
いたので、少しだけ空くのを
待ってから、たっちーと自分
の下着類を一緒に放り込んで
粉洗剤も入れ、クォーター

（25 セント硬貨）を 8 枚スロットに入れスロットごと押し込んで洗濯開始。あとは待つ。

売店の奥を覗くと、懐かしめのゲームコーナーがあったが、わざわざ利用はしなかった。
売店で緑茶やアンチョコカードやシャツなどを買い（合計 10 ドルほど）、日陰ベンチに
座ってのんびりする。風が気持ち良い。GP のためにラスベガスくんだりまで来ていると
思えないのんびりぶり（笑）。とはいえ、来て良かった。

土産を買ってウエストゲートへ戻る

洗濯を終えてサーカス・サーカスに戻る。時計を見ると 11 時。サーカス・サーカス内に
非常に庶民的な値段の土産物屋があったので、ひとつ土産をここで買って昼に戻って午後
から GP に参加しようという話にし、2 人でしばし店内を散策する。

思い思いにお土産を購入。土産物屋もそうですが、サーカス・サーカスは非常にびんぼ…
もとい庶民的な感じで良かったです。2 年後モダンマスターズ 2017 の GP ラスベガスが
開催された時には、宿泊候補に入るかもしれませんね。

11 時半にタクシーでサーカスサーカスを出てウエストゲートへ戻る。8 ドル。まあ、
やっぱ普通は歩かないよね（笑）。ともあれ、いい午前の過ごし方でした。

LCT シールド ポッド 17

小一時間ほど昨日のデッキを DiaryNote にまとめたりしてから 13 時 20 分過ぎ会場に移動する。

例によってフライト LCT シールドに長蛇の列があるが、それを横目にプラチナ専用の入り口を通して待ち時間ゼロでエントリー。これはプラチナの最大の特典だなと思える

瞬間。これが**ゼ二の力**や（笑）。



《真実の解体者、コジレック》
《雷叫び》
《貴族の教主》
《布林・アーゴルの白鳥》
《軋み森のしもべ》 foil
《遙か忘れられし御幣》
《ウギンの目》

というわけでポッド 17 にエントリー。

チェックバック配布。オバ賛美とコジレック。

…プレイマットを入れればギリギリありか？とも思えたのでドロップ&リエントリーして次に行くことにした。

取りレア

LCT シールド ポッド 19

次のトライアルのチェックバックは普通。

回ってきた自分パックの当たりレアは《オパールモックス》と《呪文滑り》。さっきの自分基準ならドロップしていた所で（笑）、ありがたくいただく。

《戦誓の天使》
《練達の育種師、エンドレク・サール》
《屍滑り》
《オルゾヴァの幽霊議員》
《オパールモックス》
《呪文滑り》

取りレア

デッキは白黒タッチ青。青は呪文滑りのためだったが、不要だったかもしれない。

[Creatures] 17	[Spells] 7	[Lands] 16
《病に倒れたルサルカ》*3	《骨の粉碎》	《アゾリウスの大法官庁》*2
《薄暮狩りのコウモリ》	《ダークスティールの斧》	《平地》*6
《呪文滑り》	《銅の甲殻》	《沼》*8
《空狩人の散兵》	《使徒の祝福》	
《屍滑り》	《拘引》	[Sideboard]
《まばゆい魂喰い》	《帆風》	《古の法の神》
《鎌切り》*2		
《オルゾヴァの幽霊議員》		
《戦嘗の天使》		
《議事会の密集軍》		
《戦慄の徒食者》*3		
《練達の育種師、エンドレク・サール》		

構築デッキ

Round1 Danさん 白青黒赤緑 ○○

G1 向こうの除去を使い切らせてから天使を展開して勝ち。

G2 押し勝ち。

Round2 Charieさん 黒赤緑 ××

G1 向こうに先にエンドレクサールを出されて、展開されて負け。最後は一気に13点をぴったり取られたので、途中のプレイミスがなければもったかも。ま、実力不足。

G2 ライフ2まで削るも、あと2点が削れず展開され続けて負け。

デッキは弱くなかったと思うが、乗り手が弱すぎた。ミスもしたし。これで終了。

バウンティシールド待機

今度のLPTは2没したのでラウンジで小休止して荷物の整理。またCardboard-Crackのプレイマットなども買う。

そしてもう 17 時。もう一回プレイマットのために 75 ドル払って LCT シールドをやるか、それとも予約済の 18 時からのバウンティに出るか…ということで少々悩むも、やっぱりすでに申し込んでしまい返金の処理もそれなりに面倒であると思われる以上は、このままバウンティシールドをやることにする。1 時間ほど空き時間ができた。



外に食事に行ったたちーから「I Love LV」Tシャツを発見したという連絡が入ったので、買ってきて貰った。

本戦登録済みリストがあったので念のため自分の名前を確認。

および、21 時からのミーティングの場所を確認。

バウンティシールド開始

バウンティシールドはニッサのエリアに集合。21 時までに 2 回戦は遊びたいが、どうかな。すでに 18 時を回っている。

バウンティシールドで引いたレアとフォイルはこんな感じ。OK、勝ったほうだな。苦花と（また）コジレック。そして構築を開始すると、もう 19 時である。

いつもの白赤装備を組む。もはや手なり。

《真実の解体者、コジレック》
《苦花》
《蟻の女王》
《硬鎧の群れ》
《軋み森のしもべ》
《太陽打ちの槌》

取りレア

Round1 Jacobson さん 白 ×○×

G1 こちらの伸びも悪く、エリシュノーンが出てきて乙。

G2 向こうトリマリ。さすがに勝った。

G3 こちらの土地が 2 枚で止まって乙。

1 回戦の対戦中「神々の軍勢」プレリのプロモ《炉焚きのドラゴン》を双方に配り始める。

え…まさか、今日のバウンティの賞品はコレなのか？自分で**FNMプロモ**を**選べない**のか？がっかり。何にせよ、勝っても負けても次でドロップである。

Round2 Anthonyさん 白青緑 ×○○

G1 こちらの土地が2枚で止まって乙。

G2 回って勝ち。

G3 回って勝ち。

2回戦の最中に、卓上にまたプレリプロモ《沈黙の歩哨》が1枚置かれて「勝ったほうの賞品」と告げられる。がっかり。今回のバウンティは、頑張っても仕方ないなこりゃ。

勝った後でスリップを書く際に「自分はもうこれでドロップします」と言ったら相手が「じゃあ私が勝ったことにしてくれませんか」と言ってくる。

もうPWPは足りている筈だし賞品プロモがこれじゃあな…ということで快諾。ちなみにこのプレリプロモは「勝った」相手も受け取らなかった。PWPが欲しかったのかな。

夕食パーティー

21時にパーティー会場へと移動。ステージなども含めて準備中の雰囲気だったが、サイドのフードコーナーは稼動し始めていたので、まずプライムリブを切って貰い、いただく。2皿も。
を、これは割とプラチナの元取れ感（貧乏性）。



それからいったん外に出ようとしたら、自分が入室した後で受付が出来ていたので、一応

受付からリストバンドとドリンク券を貰う。もっとも、ドリンク券はともかくこのリストバンドにはどれほどの意味があったのかは疑問符がつく。



21 時を過ぎて、ぽつぽつ人が集まってきたが、まずはみな食うのに忙しいようでサイン大会などになる雰囲気ではないし、個別にアーティストをつかまえてサインをねだるしかない模様。そしてその場合最大の問題が 1 つ。

自分はアーティストの**顔を知らない**（爆）。

この場に「サイン命」のシラキハラさんが居たら、アーティストに挨拶をするシラキハラさんの小判鯨になってサインを貰いまくる思惑もあったのだが、その思惑が外れた。ていうか、なぜここにシラキハラさんが居ないのだろう。

翌日シラキハラさんと会場で話して分かったことだが、シラキハラさんは 5 月頭に事故で入院していて、プラチナへのアップグレード申し込みをし損ねていたそう。あらまあ。

仕方ないので会場をうろうろして、誰かが誰かにサインを貰っている現場を見たら、その後で自分も無地プレイマットにサインを頼むという小判鯨計画を遂行。名前が分からないので、借りてきたカードにサインを貰うのなどはまあ論外。

同じ人に二度頼まないよう、私にしては珍しく顔だけは必死にメモリーする（笑）。

そのようにして白の無地プレイマットに 4 人ほどのサインを貰うが…正直なところ、話にならない。今夜の作戦は失敗である。

その後、前のステージで CFB スタッフ？のトークやら質疑やらが始まったが、ぼく英語分かりません状態で眠くもなってきたので、23 時になる頃に会場を離脱して部屋に戻る。

部屋に戻るなり、たちおさんがフロントに連絡をしていて冷蔵庫の交換員が来た。やれ、これで冷たい飲み物が保存できる（そう、昨日までは駄目だったのだ！）。

シャワーを浴びると、日付が変わる頃に猛烈な睡魔に襲われたので、プレイ日記は明日の朝にでも書けば良いかと、そのまま就寝。

5月30日（土） 明け方の日記書き

午前2時半。トイレで目が覚める。月が綺麗ですね。

寝付けないのでメールを開いて明日のスリープインの時間を確認（10時半）したり、日本のGP千葉の本戦初日の記事を読んだりする。プレインズウォーカー・コスプレイヤードラフトとかいう変なものをやっていたようだ。

7月のBMO神戸に採用されていた。頑張りますよ



やはり寝付けないので、そのまま起き DiaryNote に木曜のプレイ日記をつけているうちに、外は明るくなってきた。まあ、5時半だもんね。

さらにそのまま記憶が残っているうちに金曜の分のプレイ日記もつけ終わると、午前6時を回った。



スタバで朝食

そうこうするうち、たっちーも起きたので、ゆるゆると朝食にすることにする。今日はGP最優先でもあるので、ホテル1Fにあるスタバでいいやということに。7時半に部屋を出てスタバへ。

スタバではコーヒーMと、グリルチキンとシーザーサラダのサンドイッチというものをオーダーしてみることにする。



サンドイッチというより、小麦粉を薄く焼いたものでシーザーサラダを巻いている。**香草臭い**ものの味は悪くない。だが3個のうち1個を食べたら飽きた。残りは会場で昼食にしよう。

会場入り

朝食を済ませると8時。いったん部屋に戻る。スリープインだから10時半でいい筈だが、全員9時に来いという謎の連絡もあり。まあ、9時に会場に行ってぶらぶらすることにし、オンライン名簿で自分のブロックを確認。ヴェンデリオンのブロックだった。

部屋を出て9時に会場入りし、ヴェンデリオンのシートオールで自分の名前を確認。やはりスリープインの時間があるようなので、一応プラチナラウンジに豪華な飲食物でもセットしてあるのでは…と期待し足を伸ばしてみるも、何もなし。歩き損。無駄に歩いている足がそろそろ悲鳴をあげてきたので、ラウンジのソファでコンビニで買った絆創膏（8.64ドル）で手当てする。

本戦前のアーティストブースはさすがに空いているので、預かったカードにサインを貰うことにするか…と考える（部屋から持参してきていた）。しかしなんということだろう。

肝心の自分の白いサイン用プレイマットを部屋に**置き忘れた**。とほほ。

今から20分かけてホテルまで往復するよりはと、バイヤーブースで無地の黄色のプレイマットをもう一枚買い、サインを貰い始める。

たいていのアーティストは基本は字だけのサインなら無料なわけだが、Bryonさんは何も買わないなら一つ2ドルと言われたので、5ドルの同人誌を買う。

スリープイン構築開始

11 時にエリアに戻ってスリープインのキットを受け取る。中身はこんな感じ。本戦プレイマットと LSV トークンとグリセルブランドセット、CFB ボールペンとメモ、それとチェック済みのパッカー式と登録用紙とメディア同意書。

これがデッキケースに入った形でまると手渡された。たいへん、扱いやすい。

自分のレアは 100 円 6 枚。悲しみを背負って構築。とはいえリミテッドではそこそこ強いレアではある。



《練達の育種師、エンドレク・サール》
《真夜中のバンシー》
《苦悩火》
《圧倒する暴走》
《磁石マイア》
《先駆のゴーレム》

取りレア

プールはコモンがほどよく固まっていたので、メイン

黒のサブ緑のタッチ赤ですんなり決まる。そこそこ行ける子ではないか、という感触。

[Creatures] 16

《病に倒れたルサルカ》
《皮剥ぎの鞘》
《血の座の吸血鬼》
《薄暮狩りのコウモリ》 *2
《巢の侵略者》
《短剣爪のインプ》 *2
《希望の盗人》 *2
《鎌切り》
《カヴーの上等王》
《コジレックの捕食者》
《戦慄の徒食者》
《練達の育種師、エンドレク・サール》
《真夜中のバンシー》

[Spells] 8

《骨の粉碎》
《巨森の鳶》 *2
《名も無き転置》 *2
《圧倒する暴走》
《森の報奨》
《苦悩火》

[Lands] 16

《沼》 * 9
《山》
《森》 * 6

[Sideboard]

《巨森の鳶》

11 時 20 分に構築終了。

構築デッキ

まだ本戦 1 回戦は始まっていなかったなので、引き続きサインを貰う。

Christopher Rush のサインのため 200 枚限定の稲妻プレイマットを 50 ドルで買う。
そろそろ本戦ラウンド 1 が終わるので、正午過ぎにサイン貰いの旅を終えてエリアに戻る。
また鞆の中の荷物を減らす意味で、サンドイッチの残りを片付け始める。

GP 本戦開始

Round2 Bridet さん 白赤 ○○

G1 エンドレクサー無双で勝ち。

G2 回って勝ち。幸先いいな。

15 時半に、ラウンジで頑張って香草
臭いスタバサンドの残りを平らげる。
これはもうノーサンキュー。

口直しにラウンジで無料の焼きたて
チョコクッキーと水をつまむ。
ていうかカロリー補給はこれで十分。



Round3 Chiang さん 白青緑 ○××

G1 順調に除去と 0/1 などの展開を続けて《戦慄の徒食者》も出す。向こうが 4/1 の徒食者に《睡眠発作》を張って無力化。ふむ…と思いつつドローは《圧倒する暴走》。えーとこれっていけるよな、と思いつつ唱え 0/1 エルドラージを含め 7 体くらいが +4/+4 トランブルで殴り勝ち。脳汁が出た。

G2 向こうが《萎れ葉のしもべ》を出して孢子が 2/2 になりこちらの動きが止まる。突破できずしばらくするうち相手が《大修道士、エリシュ・ノーン》を唱える。投了。

G3 向こうの《萎れ葉のしもべ》に止まる。ていうか 4/4 除去できねえ。押され続けて負け。早くも土がついた。15 時。

Round4 Kimさん 白青赤 ○○

G1 押し勝ち。

G2 押しつつ本体に《苦悩火》でフィニッシュ。

4回戦は快勝できたので、空き時間にアーティスト2人からサインを貰う。オンラインペアリングの使い勝手は非常に良く、時間をかけずに着席できる。エリアごとにカスタムしてある時計も面白い。



エリアごとの内容に揃えたラウンド時計

Round5 Stephanさん 青黒 ○○

回って勝ち。今日はツイてる。なんと4-1だ。このまま夢を見たいね。

そして午後6時。あと30分近くあるのでサイン。ファーガソンからラスベガス50枚限定プレイマットを40ドルで購入のうえでサインを貰う。カネは使うためにあるんや！

Round6 Leeさん 白赤 ××

G1 順調に展開しつつ相手を8点まで減らすも《全ては塵》で流された（相手に4/4のアーティファクトが残った）後に相手が《戦艦の天使》を出して、アーティファクトが賛美つき5/5魂絆で殴ってきて回復。それからは自分がずっと土地しか引かなかったというのもあるのだが、基本、これで決まった。

G2 順調に展開したら《全ては塵》。それからリカバリするとまた《戦艦の天使》で5/5魂絆。この時点で「あー」な感じで投げていたものの、ここで致命的なミスをした。自分は5/5絆魂を0/1落とし子でチャンプブロックしたが、ここでは生け贄にすれば相手に5点与えなかったのだった。実際に、その後で天使も除去できて再度押し合いになり手札に苦悩火もあったので「あの5点がなければ勝った」状態になったのだ。無念。もちろん3本目も勝つ必要があるにしても、こういう所を丁寧に拾えるかどうかG P 2日目に進めるかどうかの分かれ道なんだろうなあ、とは思った。

これで4-2。何だかんだでもう19時で、小腹がすいて塩気も欲しかったのでラウンジでポテチ2ドルを買ってつまむ。さすがにもう3敗ドロップでいいよね…。

Round7 Deneさん 白黒赤 x○x

G1 押し合い状態のところ、向こうが黒命令をX=4で打ってきたうえで白赤クリーチャーに畏怖をつけて殴ってきっちり7点を取ってきて負ける。ぬう。

G2 エンドレクサー無双で勝ち。

G3 ライフレースのすえに、こちら6点まで押すも相手が《ミラディンの十字軍》を出してきた。もちろん除去できない。ただ、こちらは落とし子でブロックが可能なので相手は返して死ぬため殴ってこない。こちらは《苦悩火》を引けば勝ちなんだが…」と思いつつ何ターンか待つも引かず、やがて相手は《帆風》を装備し、さらに+2/+2も装備して空から殴っての負け。これはもうどうしようもないな。右手力の不足。

これで4-3ドロップで終了。これで自分のGP本戦はおしまい！

土曜終了

すでに20時を回るも、この際まだ会場に残ってサインをやっているアーティストのサインを引き続き貰うことにした。

結果、10人以上とそれなりの成果に。



また、残り手持ちレアをバイヤーブースでいささか売却してドルを稼ぐ。

コンビニでコーラとパンを買って（5.98ドル）22時過ぎに部屋に戻ったら、たっちーが高イビキをかいていたので一人飯にでも出ようかしばし逡巡するも、結局、自分もここで適当に買ったものをつまんだら、シャワーも浴びずにそのまま寝落ちしてしまった。

5月31日（日） 早朝の日記書き

午前4時に目が醒める。やはり今日も起きてしまおう。昨夜はシャワーも浴びず落ちたし、昨日のGP本戦の日記は今日のスーパーサンデーシールドを遊ぶ前に、記憶があるうちに書いておきたい。日本時間は午後8時。そろそろ体内時計を適当に騙す意図もある。

今日は9時からのスーパーサンデーシールド（予約済み）に参加。あとは流れで。

PWP的にはすでに2250点は越えたはずなので、今日のスーパーサンデーシールドでは別にPWP目当てで頑張らなくても良く、さっさとドロップして午後まるまる観光…でもいいし、17時まで開いているシールドに参加してもう1枚ヴェンデリオンプレイマットを取りに行くのも、もちろんありだ。まあまずはいずれにせよスーパーサンデーシールドを楽しく遊んでからだ。モダマスシールドは普通に楽しいからな！

昨日の本戦日記をDiaryNoteに書くうち、5時を回って、そろそろ外が明るくなってきた。たちーも起きた。

このホテルへの評価

そろそろ午前6時。シャワーを浴びるが、熱いお湯が出ない。正直、ここの水回りは良くなく、風呂の湯もきっちり止まらず常にちょろちょろ無駄に水が出続けている。

従業員の連絡も悪くて冷蔵庫も2日直らなかったし、どこのアジアの安ホテルやねん旧名ヒルトンや、な感じ。GP会場の近くでなければ、今後もうここを選ぶことはあるまい。

その癖、エルビス由来はともかく妙にお高く止まっていて、実は昨日はバイヤーブースでカードを売っていささかドルを稼いだのでひとつこのホテルのカジノで100ドルくらい使うかとも思ったのですが、ブラックジャックのミニマムが10ドルだったので見送ったのですよ。うん、ぼくはミニマム5ドルくらいで打ちたいです。

バフェイで朝食

7時半。日記も書いたので朝飯にとたちーと下りたら、日曜は8時からとのこと。5ドル高くランチ扱いらしい。いったん部屋に戻って荷物の整理をした後、再度下りてバフェイに入る。飯を食いながら今夜の予定を相談。さすがに値段分、内容は先日よりいい。大丈夫かお前な量を盛る。ピザとかフライドチキンとかも。さらに目玉焼き（玉子3つ）を焼いて貰い、デザート。



腹もくちたので、たちーを置いてスーパーサンデーシールドへと出るべく移動を開始。すでにエントリー済みなので開始時間ギリギリでも余裕。サイドイベント予約は悪くない。

サイン入りプレイマットを紛失！

昨日サインを貰いまくった黄色のプレイマットが今朝部屋の中に見当たらないことが判明していた。状況的には昨夜最後に CFB にカードを売りに行った時に置き忘れたと思われたので CFB ブースで聞くも「知らない」との返事。なんてこった。まあ金銭的にはほぼ無価値だが、手間をかけた記念品を無くしたのが純粹に残念。

スーパーサンデーシールド構築

9時にリリアナのエリアでシートオールを待ち、移動して着席。今日はスーパーサンデーシールドの後、今日になって30ドルに値下げ発表したモダマスドラフト（パックが余…いや、なんでもないです）を夜までやりまくるのも手か。

10時半に、机にプレイマットと追加参加賞のスリーブ、6パックとデッキ登録用紙が配られる。いよいよだ。チェックパックには《プリン・アーゴルの白鳥》が3枚入っていて苦笑する。強そうだけど。回ってきた自分のプールは、オバ賛美とちらつき蛾のフォイルは、普通に元取れプール。

《戦誉の天使》
《貴族の教主》
《圧倒する暴走》
《火想者ニヴ＝ミゼット》
《磁石のゴーレム》*2
《ちらつき蛾の生息地》 foil

取りレア

コモンプールを睨むと《かき鳴らし鳥》が4枚もあったので（笑）、んじゃあ今日はまだ組んでなかった増殖をテーマにしてみるかということで、青緑の増殖で組む。色的にはもちろん移植もテーマにすべき色なのだが、移植がほぼプールになし。

[Creatures] 14

《貴族の教主》
《シミックの信徒》
《かき鳴らし鳥》*3
《突風掬い》
《迫撃鞘》
《まばゆい魂喰い》*2
《フェアリーの機械論者》*2
《カヴーの上等王》
《ヘリウム噴射獣》
《熟考漂い》

[Spells] 10

《蒸気の絡みつき》*2
《銅の甲殻》
《使徒の祝福》
《マナ漏出》
《睡眠発作》
《忘却の輪》
《転倒の磁石》
《生育》

[Lands] 16

《アゾリウスの大法官庁》*2
《セレズニアの聖域》
《平地》
《島》*7
《森》*5

[Sideboard]

《かき鳴らし鳥》
《テゼレットの計略》*2

構築デッキ

サイドボードは基本、構築失敗のリカバリ。

《かき鳴らし鳥》は「さすがに打点1だし4枚はいらないんじゃない？」と思い1枚減らしたのだが、ほどなく失敗を悟る。結局のこのデッキはこいつが回るかどうか鍵だし相手も最優先で除去するので多すぎるということはない。色が合わず増殖デッキでなくても入る2枚ドローの《テゼレットの計略》を抜いたのも、まったくどうかしている。基本的には毎回2ゲーム目からこの3枚をサイドから入れ、それほど噛み合っていない《フェアリーの機械論者》2枚と《カヴーの上等王》を抜くプレイになった。

スーパーサンデーシールド開始

Round1 Jonesさん 白赤 ○××

G1 まあ勝ち。

G2 向こうのタッパーにいわされて負け。

G3 ギリギリの攻防のすえ、最後の最後3連続で土地を引いて負け。面白かったが9841。

早くも土がついた。もはや次でドロップなのかと思い、バイヤーブースでウルトラプロの米国製のオタクキャラスリを買う（結果的には使わなかったが）。



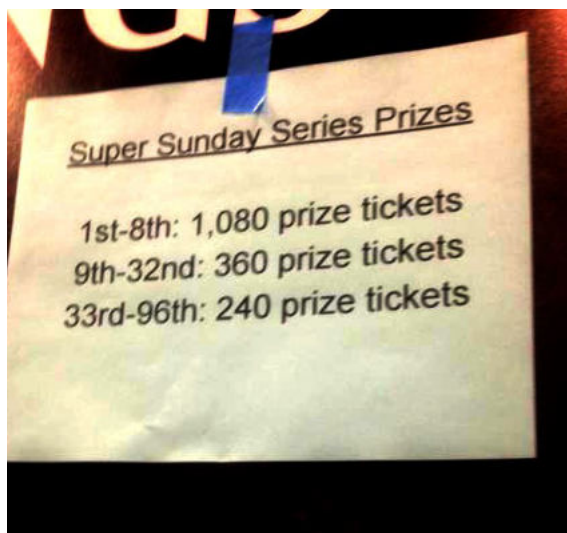
Round2 Hoganさん 白緑 ○×○

G1 最後に《迫撃鞘》で自分の3体を全部本体に3点叩き込んでギリギリ勝ち。

G2 負け。

G3 気持ちよく増殖が回って勝ち。

おおっ、このデッキ回っていて凄く面白えー。こりゃ2敗しても続けようかな。



そしてよく見ると今日のスーパーサンデーでは96位まで賞品チケが出ることが判明。240チケということは…あれ？これ割合とでかいぞ。モダマス8パックだ。

ジャッジに聞いて参加者などを確認する。今回のスーパーサンデーシールドは700人くらいで、それを2分割してそれぞれでの上位96位までこの賞品が出るとのこと。

ということは、本戦9ラウンドの勝ち越しくらいで8パックが貰えるのではないかな。

これは2敗即ドロップで30ドルのブードラに行くより、もうちょっと頑張ってもいいな。

Round3 Kriftsenさん 白黒赤 ○○

G1 マナを高速で伸ばした相手に《解放された者、カーン》を出されそうになるも、
《マナ漏出》でからくもかわして勝ち。

G2 コツコツと削りつつ増殖していき勝ち。

いやー、このデッキ本当に面白いわ。いつもの自分のような右手ブン回れば勝てるだろな
デッキでなくて、バウンスやプロテクションをこつこつ積み重ねて、相手をタッパーやら
バウンスで封じつつ《かき鳴らし鳥》をいかに守って（あるいは除去を使わせたうえで、
後続を出して）通して勝ち筋につなげるかを組み立てる必要がある。いいリミテッドの
デッキができた。

13時半。いったん部屋に戻ったたちーからの連絡によれば、なぜか「起こさないで」
タブがドアノブにかかっている、このため今日はベッドメイクされなかった模様。なぜだ。
まあ、最後の晩くらいベッドメイクなしでもいいか…基本、乾燥してるし。

サイン入りプレイマットが戻った！

Round4 Petersenさん 黒赤 ○○

G1 相手の土地が2枚で止まって勝ち。

G2 いなして圧勝。除去をプロテクションでかわし、相手の強化をバウンスでかわす。
青1マナだけ立てておけばどちらにも対応できるのが、なにげに強い。

合間にスターウォーズの投売り3ドルスリーブを
発見して購入。2年前くらいからの在庫っぽい。

またヴェンデリオンマットはどここのバイヤーにも
山積みで、値段が40ドルから30ドルに下落中。
4千円でいいなら無限購入できたよ（笑）。



15 時に CFB が twitter で "Lost & Found" アナウンスを流したので、さっそく行ってみる。

<https://pic.twitter.com/duIhVYhcEk>

スタッフに「サインの一杯入ったウルプロの黄色いプレイマットはないか？」と聞いたら、即座に出てきた！ やはり昨日、どこかに忘れていたのだな。他の人にとって金銭的価値など薄いものだとはいえ、普通に届いていて感謝。

…よし、では次からは空き時間に再度サインチャレンジをするか。ただし本戦も終わった今日は全体にサインの列も長く、まあ難しいかも（結局、やはり取れませんでした）。

なお落し物コーナーには、他に数十枚のプレイマットが山積みになっておりました。まあ大半はヴェンデリオンと本戦プレイマットのようでしたが。

上位賞を目指す攻防

Round5 Leeさん 青黒赤 x○x

G1 相手は青黒増殖。《マナ漏出》2枚でこちらの勝ち筋を序盤中盤に落とされたうえ
《プリン・アーゴルの白鳥》が着地してフィニッシャーになり敗北。

G2 こちら《かき鳴らし鳥》が居る状態から2体目の《かき鳴らし鳥》を出したあとで
《生育》をX=2で唱え+1/+1を1つずつ乗せてから1体が殴り、たちまち+1/+1が
2個乗った3/3《かき鳴らし鳥》が2体という圧勝の構え。向こうは飛行2/2のみ。
次のターンへ。ただちに3/3《かき鳴らし鳥》2体で殴ると、向こうは1体をチャンプ
ブロックした後もう1体に除去《名も無き転置》を打ってくる。自分はこれに対して、
バウンスでそいつを手元に戻して守った…のだが相手がその後で「いや自分が《名も
無き転置》を打ったのはブロックされた方だ」と言う。いや確かに自分の2/2飛行を
守って次につなげるという考え方もあり得るので自分の勘違いの可能性もあるものの、
ともあれジャッジコールして状況を説明する。

ジャッジの裁定は「《名も無き転置》の対象指定まで巻き戻し」。相手は結局、本人の
主張通りにブロックされたほうを対象にしたので自分はバウンスを使わず3点を通して

同時に 4/4 に成長させた。相手の飛行 2/2 も残ったが、結局はこのゲームは勝てた。

G3 ギリギリの攻防でのトップ勝負。お互いライフ 3 点で、盤面はこちらが割と有利で
タッパー 2 つを持ちあと 1 回殴れば勝てる状態。ただし相手は《ヴィグの移植術師》が
おり、6 マナ使って全力でアンタップさせると攻撃を通せる状態になり得る。加えて、
自分の墓地には《ヘリウム噴射獣》がいた。こちらは手札に《マナ漏出》。

相手のターン。相手は 5 マナ残した状態で《くぐつ師の徒党》を唱える。そしてここで
自分は「どうせ 3 マナを払えるしな…」と思ってしまい《マナ漏出》を打たなかったと

いう**致命的なミス**を犯した。相手はこちらの《ヘリウム噴射獣》を吊り上げて、
攻撃宣言。こちらは《ヘリウム噴射獣》を 2 回タップさせるも、相手は 4 マナで 2 回の
アンタップをさせる。そして残った 1 マナで《ヘリウム噴射獣》が飛行。あ、負けた。
完全なプレイミスで敗北。9841。でもいいゲームだったな。

これで 3-2。決勝ドラフトはとにかく上位 96 位の賞品圏はまだまだ狙えるし、何よりも
このデッキは打っていて面白いので、今日はもうこのまま最後まで遊ぶことにする。

Round6 Wolf さん 白青 x○○

胸は小さかったものの髪を紫色に染めたキュートな眼鏡娘が対戦相手。

にこやかにハロー、グッドラックと言ってくるので、こちらにもこやかに応じ対戦開始。

G1 向こう先手で、金属を高速展開されて負け。気を引き締めて対戦する。

G2 粉碎。

G3 粉碎。

さすがに相手は少しムツとしつつ「グッドラック」と言って去った。**なさけむよう**。
勝負の世界は厳しいのだ。しかしもう少し胸が大きかったら危なかったかも（笑）。
一息入れようと思ったら、ヴェンデリオンエリア横のラウンジの水が切れていた。むう。

Round7 C.J.Swimmer さん 青緑 xx

G1 《ペラッカのワーム》が出てきて 7 点回復。そのワームは何とか追放できたものの、
結局このライフ差を埋められずに負け。

G2 向こうの土地が3枚で止まって、比較的有利に進める。殴り合いの結果、こちらもライフを5点まで削られるも、あと7点まで追い込んで増殖もし、何よりもタッパーを2つ構えられ次に殴れば勝てる状態になった。そして向こうのアタッカーは飛行持ちとそうでない奴が1体。

相手の攻撃宣言前。こちらは何も考えずに飛んでないほうをまずタップ。そして次に、飛行持ちをタップ…しようとしたら《巨森の鳶》をキッカーつきで唱えられて+4/+4呪禁でタップを封じられる。

「あ」と思ったがそれで殴られて負け。地上1体は普通に止められたので、飛行持ちのほうを先にタップさせれば普通に勝てた。**完全なプレイミス**。馬鹿だろ俺。

7回戦終了時点で76位。96位までの賞品は十分狙える位置。あと2回がんばろう。

Round8 Keithleyさん 白青黒赤緑 ○×○

G1 ブンして勝ち。

G2 ライフレースのすえ、こちら残り1点なるもがっちり固め、相手はあと2点で1回殴れば勝ちの所で、本体火力をトップされて負け。

G3 まあ勝ち。基本、5色は除去をかわせれば楽な相手だったと思う。

これで52位。さすがに次で負けても96位の賞品圏は確定だろう。次に勝てば32位より上の賞品1.5倍も狙えるかなー？

Round9 Rasumsenさん 赤緑 ××

G1 土地が2枚で止まって負け。

G2 相手の手札使いきりの猛攻に負け。基本的に、苦手なデッキタイプではあった。

これで結果5-4。さすがに96位には入っただろうなあ。

いやあ、本当に楽しいスーパーサンデーシールドでした。

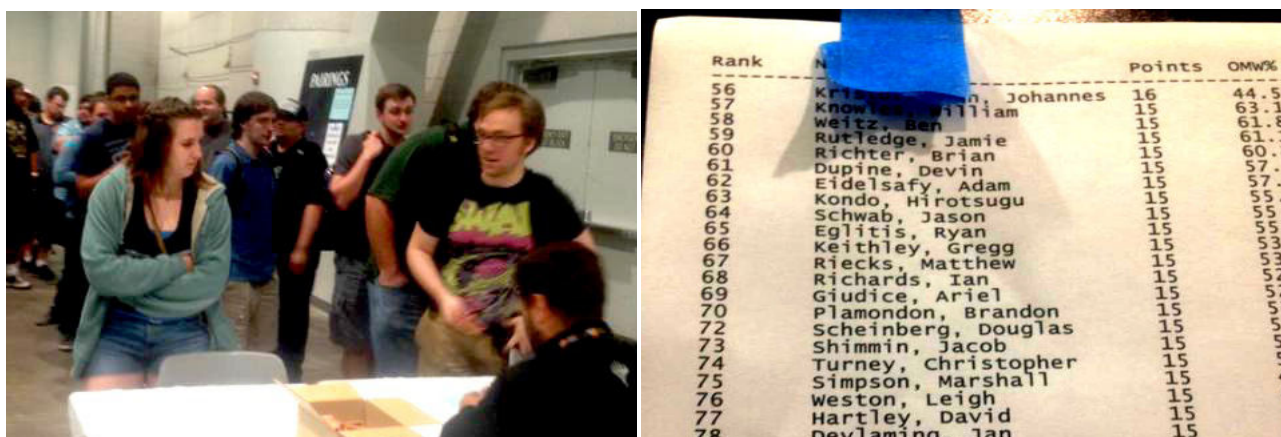
やっぱりマジックたのしー。

スーパーサンデー上位賞をゲット！

部屋にいったん戻って外出支度をする。むしろ最終戦をストレート負けしたのは、夕食の時間の意味で幸いか。現在 20 時過ぎ。

部屋で余計な荷物を下ろしてから再度会場へ。そろそろ最終戦が終わる筈。

30分くらい早く進行していた反対側のブロックの賞品受け渡しが始まっていた。そして少し待って自分の最終順位を確認。63位。よっしゃ、モダマス8パックをゲットだぜ！



賞品引換所でたちーと合流し、昨日までのチケットと合わせ 310 チケットをモダマス 10 パックと、余った 10 チケで CFB の袋を獲得する。では夕食だ。

フリーモントでステーキを食う

まずはフリーモントまでタクシーで移動。

タクシー料金は、たちーと折半でたちーがカードで払ったのだが、タクシーのカード処理機のところに「チップ」のボタンがあり、ここで何パーセントのチップを乗せるかを選択できるようになっていた。

それはいいのだが、ボタン数個のチップのレートが「20%」からであり「え、それって高くね？」と思うも、仕方なく**20%のチップを乗せて**支払う。

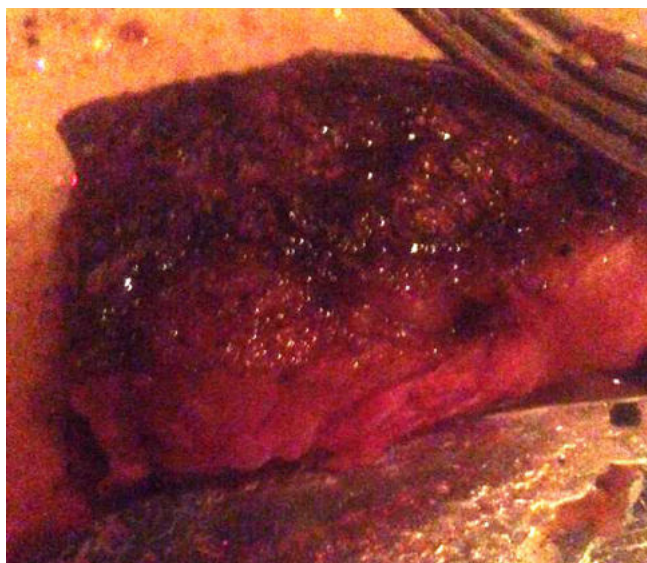
よく見るとチップ設定画面隅に「Other」というボタンもあったので、あるいはそれを押し手動で5%なり8%なりを設定すべきだったのだろうか。

それはそれとして、フリーモントに到着。

やっぱり、この**魔空空間**は凄いわー。

すでに夜は更けているのに昼間のような明るさ。

すでに22時を回ったので、ともあれ夕食にすることにする。ひとつ最後の夜はお金をかけた飯にしましょう！ということで、ガイドに載っていたステーキ店「Vic & Anthony's」というのを探しホテルの1階に発見したうえで入った。



2人でメニューを見つつ、肉料理と一緒に、シェアするサラダや飲み物もオーダー。

料理のいささかの待ち時間に、モダマスを開封。オバ賛美に加えて、光ったカーンと光った青命令が出た。大勝利。

サラダや飲み物をつまんだ後、料理の到着。

この**肉の厚さと旨さ**。

お値段はいささか張ったものの（総額80ドルくらいだったか）、たらふく食って大満足して店を出た。来て良かった。

お土産と記念撮影

店を出ると目の前のステージで、エルビスのそっくりさんが歌って居た。

そしてすでに 23 時を回っているが、まったく盛況さを失わない大通り。



土産物屋で体位トランプが売っていた。

こういうのはどこの国の観光地にもある。

ネタのため買うかと思い、店員に「この赤と黒はどう違うんだ？」と聞く。

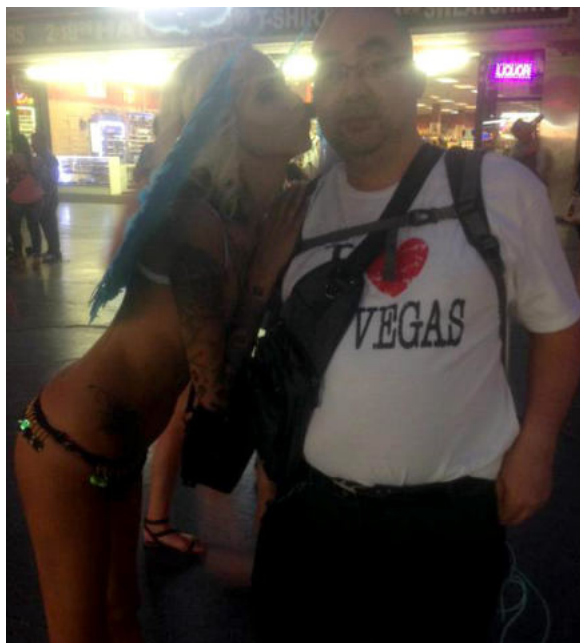
店員は「黒のほうは EXPERT! 向けさ hahaha」と答えてくる。いやあ、この

赤のほうの**吊り輪**を使った奴も相当

難易度高そうなんだが…そもそもご家庭に吊り輪があるものなのか、アメリカ。

1 個 10 ドルのところ、2 個 15 ドル（+税）に値切って購入。

さらに例によって、お色気系のストリートパフォーマーに 1 ドルずつ渡してネタのためにたちーに写真と一緒に撮って貰う。



ダウントウンの入り口

賑やかなフリーモントのダウントOWN側入り口に到達したので、そこで記念撮影の後、その通りを横切ってダウントOWNへ入ってみる。

まだ店など開いていたものの、少し進むとやはりフリーモントのようにキラキラ明るくはないし、

雰囲気や住民がいささか**危険な臭い**を醸し出してきたので、10mほど進んだ後たちーと目配せして、踵を返して明るいほうに戻る。

実際に危険が待っていたかどうかは、知らない。



タクシーでホテルに戻る

そのまま、ダウントOWN口のその通りでタクシーを拾い、ホテルへ戻る。

帰りも折半でたちーがカードを使ったのだが、行きの反省から「20%」は選択せずに画面の「Other」を押すと、画面が切り替わる。やはり比率を数字で設定できたものの、

同時に表示された明細を見たら、チップに加えカード手数料が**3 ドルも**取られていることが判明。げげげ。もうタクシーは現金払いかなあ。

ていうかやっぱ、アメリカの外税に加えての「チップ」文化はどうにも馴染めないや。かなり当初予算をオーバーした買い物を続けているよと。

コンビニでアイスとマウンテンデューを買って（4.98 ドル）、シャワーを浴びて部屋で一息つく。そろそろ日付が変わる。

さすがに今日はこのまま寝ることにしよう。明日は帰国だ。

6月1日（月） 日記を書いてチェックアウト

午前7時に目が醒めたので、そのまま起きる。

朝食は部屋に残っているものをつまむ程度で済ませながら、DiaryNoteに昨日のスーパーサンデーの日記を書くと10時半。よし荷造りをしてちょうどいい感じ。

11時にたちーと部屋を出て、いささか長い列に並んで11時半にチェックアウト完了。

空港へのタクシー

そしてホテルの前から空港へのタクシー。

写っていないが写真の右側に数名並んでおり、どうやらそちらは空港への乗り合いバス待ちのようで、ある程度の人数になったらバスが出るというシステムの模様。

値段を聞いてもそれほどは安くなく、時間もあまり余裕が無かったので素直に左に行って、タクシーを拾う。



空港での手続き

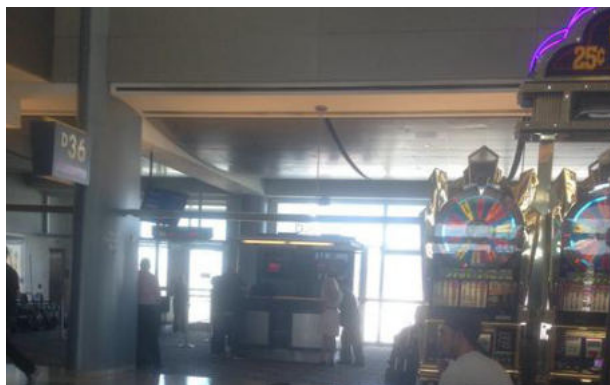
正午に空港に到着。すでにオンラインチェックインを済ませていたたちーは「あんたはこっち」と黒人オバチャンに案内されてショートカットし、別れた自分は長い列に並ぶ。むう。やはり1人だといささか不安になるが、特に何ごともなく30分ほど待った後に、機械を操作してパスポートを読み込ませ手続きを終えて発券終了。よしよし。

さらに機械の目の前の窓口で荷物を預けたうえで、D36 ゲートへと向かう。

たっちーはもうさぞかし先に行ったかな…と思ったら、チェックインを済ませていた割に向こうも何やらもたついていていたようで、D ゲートに到着したら、目の前にまだ並んでいるたっちーを発見した（笑）。

13 時にセキュリティーも通過し、同じ D36 ゲートにたっちーと移動する。たっちーは 1 時間後にここで搭乗。自分は 2 時間後にその次の便で搭乗。

たっちーの便が遅延したら自分も遅延する。



ピザの昼食

たっちーがそれほどは時間に余裕がないので、待たされる店を避けてピザを一緒に買っての昼食。一番安いピザよりペットボトル水の方が高い（笑）。

13 時半。食事を済ませて、そろそろ搭乗時間のたっちーと別れる。次にたっちーに会うのは神戸 BMO かな。

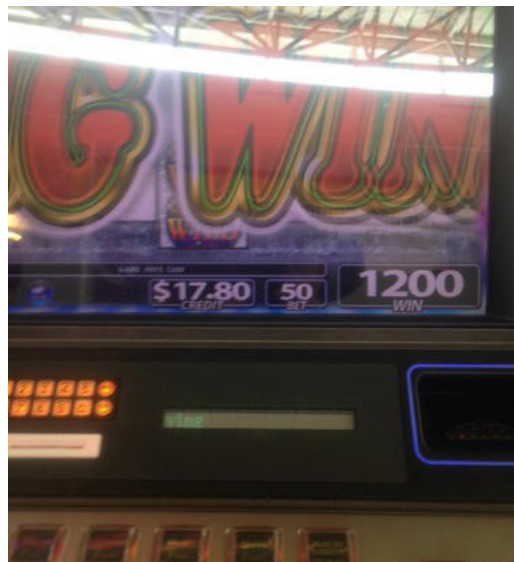
空港のスロットマシンで遊ぶ

自分はあと一時間あるわけだか…せっかくラスベガス空港に居るのだから、スロットでも回してみようかな、ということでぶらぶら歩きつつ、適当な台に座って財布に残っていた 7 ドルを突っ込んで回してみる。ひと回し 50 セント。

スロットマシンはドラクエくらいでしか遊んだことがなく**初体験**の自分は、ルールがよく分からないまま始めたものの、適当に回していると、適当に揃ったアナウンスが出て派手な演出が出たり、当たりが出たり出なかったり、クレジットが増えたり減ったり。

やべえ**これ面白い**。

時折そこそこの大当たりなども出たために、一時はクレジットが25ドルを超えて「おおっ、**ここで止めれば**18ドルの儲けだぜ」とか一瞬思うも、それからは大当たりを引かず次第にチップは減っていき気がついたら**35セント**しか残っていない状態になる。これがカジノ！まさにカジノ！

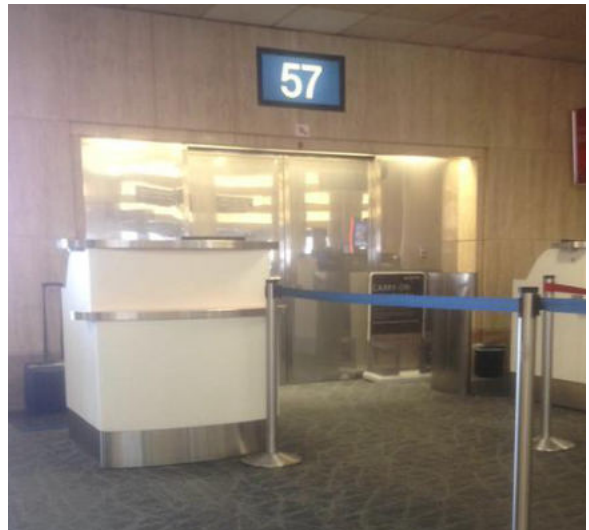


もう搭乗時間まで残り15分ほどでもあり、35セントのバウチャーを換金しても仕方ないので**戒め**記念に持ち帰る。なるほどこれはそれほどお金がかからず、そこそこ時間が使えて面白い。確かにスロットは貧乏人のギャンブルだなーと理解した。

ロスアンゼルス空港へ

それからは何ごともなく15時前にデルタ4597に搭乗し、定刻通り14時59分に離陸し、16時20分ロスアンゼルスに到着。羽田行きのDL637は57番ゲートで、現在のところ18時40分発の定刻通りのようだ。まずは57番ゲートに移動する。

あとは2時間後にこのまま乗ればいいだけ…
あれ？米国って出国審査って無いんだっけ？
すでにセキュリティは通過してるにしても、
パスポートに出国ハンコとか捺してないぞ。
…と思ってパスポートを見ると、どうやら
2年前のベガスの出国ハンコに相当するものは
見当たらないので、多分それで良いっていう
ことなんだろうなあ。



空港で土産を買う

まだ財布の中には100ドル札3枚が残っていたが、ベガス空港カジノでうっかり小銭を
スロットに放り込んでしまったため、空港のスタバで100ドル札の買い物を断られた。
まあその後、ちゃんとした店で両替をしてくれて事なきを得たのではあるのだが。
余った米ドルは7月の香港の両替屋で香港ドルを両替する際に使えばいいと思ったので、
別に今回、残りを無理に使い切ったり円に両替する必要はない。

それはそれとして土産の酒や女房へ的高级お菓子など買う。ペットボトルの水が3ドルと
いうくそ高い物価でいちいち円に換算するのを止めて一週間過ごすと、それなりの洋酒の
瓶が一瓶40ドルとか50ドルとか激安だな！とか思ってしまいが、もちろん錯覚だ。
免税店でお買い物終了。一週間ぶりにナチュラルな日本語を話す店員から物を買う。
買ったものはいま渡さず、ゲートをくぐった所のワゴンで渡すそうさ。ふむ。もしかして
そうしないと空港内で免税の酒とか飲んでしまう奴とか居るからなのかな？

17時半。搭乗まであと1時間。機はすでにゲートインしている。暇も手伝って、まだ
残っていたポテチをつまむ。多分、離陸するとすぐ早い夕食が出てくるとは思うんだけど
…まあいいや。さらにペットボトルコーラも3ドル出して機内飲用に1本買う。

羽田行きに搭乗

18 時半、18 時 40 分発のデルタ 637 に搭乗。Wifi モデムの電源を切る。

行きの飛行機の中で「ホビット 2」を観たので帰りは「ホビット 3」を観るかと思ったら日本語が入ってない。むー。ま、いいか。それほど観たいわけでもない。

19 時 49 分。飲み物とミニプレッツェルがふるまわれる。

20 時半に夕食のチキン。味はまあまあ。

21 時 20 分、機内灯が落ち、ペットボトルの水が全員に一本配られた。まだ先は長いし、おとなしく寝ているということだろう。実際、寝るしかない。

実際には日本に帰って眠れなくなるリスクを回避するためには、今は起きているべきだが。



6 月 2 日（火） 機内の時間潰し

米国時間で火曜の午前 0 時を回る。羽田まであと 6 時間。やっと半分きたな。

そして日付変更線も超えたし、ここらで時計を再度日本時間に戻すことにしよう。

すなわち現在は火曜夕方 16 時。何となく損をした気分。行きに得をしたのは忘れる。

トイレに行き、トイレ横の窓から外を見ると明るい。まあ 17 時だからな。あと 5 時間。

退屈しのぎに kindle に入れておいた星新一の新訳「竹取物語」を読む。星新一の解釈もあり、細部は記憶や映画などと違うところもあるが、何にせよ読んでいてのビジュアルは

もはや**ジブリのアレ**しか浮かんでこないのは仕方あるまい。特に**アゴ**。

「竹取物語」を読み終えて 17 時半。羽田まであと 4 時間半。やはり少し寝ておくか。

20 時半。あと 1 時間半で羽田だ。機内灯がついた。

最後の機内食

21 時。時間的には夕食の朝食が出る。

チーズバーガー…ではなく、チーズ卵焼き
サンドは暖かい。うまい。

あと 1 時間。これを食べたら着陸体制か。



帰国

22 時 20 分に日本に到着。iPhone 機内モードを解除して、自宅に電話。

22 時 40 分に入国手続きを終了し、荷物の受け取り待ち。

23 時 11 分に荷物を受け取って通関待ちの列に並ぶ。

23 時 26 分に通関を終え Wifi モデムを返却。モノレール駅へと移動。

23 時 37 分に浜松町への急行モノレールに乗車。

23 時 52 分に浜松町で山手線に乗車。山手線のホーム上で倒れた人が出て神田駅で停止して一瞬焦るも、0 時 8 分には秋葉原で総武線に乗り、0 時 28 分、新小岩に到着。

新小岩駅からはタクシーで自宅へ。千円なんて安い安い（感覚の狂い）。

0 時 40 分、帰宅して風呂に入る。そしてこれで私の GP ラスベガスも終了なのです。

(完)

GP 旅行は物欲を満たす旅でもあるのです。



GP ラスベガス 2015 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2015年8月14日

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（近藤博次）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）